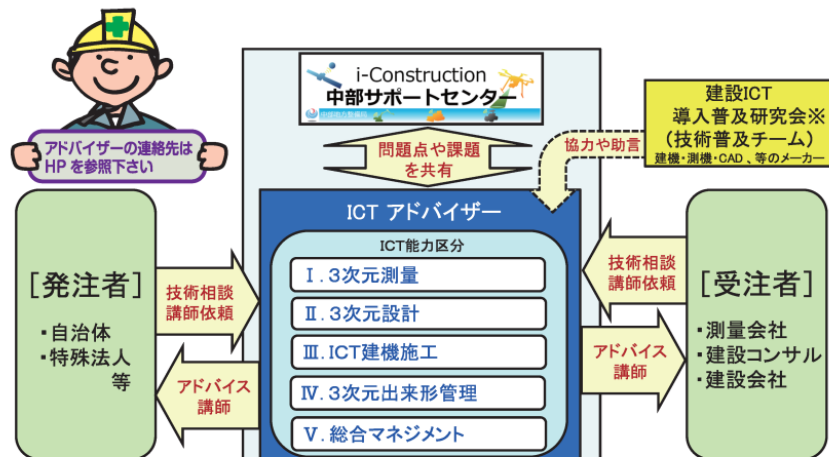


ICT アドバイザー制度（中部地方整備局独自の取組み）

ICT 活用工事の先駆者である「ICTアドバイザー」より専門的なアドバイス等が受けられます。



土木系学生のための ICT 講座（中部地方整備局独自の取組み）

中部地方整備局（建設 ICT 導入普及研究会※）では、将来の建設業界を担う学生を対象とした「ICT 講座」を（一社）日本建設機械施工協会の協力により、管内の土木系の学校で順次開催しています。「ICT 講座」では、最新の建設 ICT や測量技術を紹介するとともに、ドローンやレーザースキャナによる測量などを体験していただけます。



あなたの学校にも
お伺いします。



※建設 ICT 導入普及研究会（会長：中部地方整備局長 会員約430者）は、ICTを活用し、効率化・高度化による生産性向上・行政サービス向上・現場技術力強化を図ることを目的とした産学官で構成する組織。

i-Construction お問い合わせ・ご相談窓口

[i-Construction 中部サポートセンター]

サポートセンターは、i-Construction についてのお問い合わせ・相談の受付、研修の開催などの支援を行っています。

連絡先：国土交通省 中部地方整備局
企画部 技術管理課 052(953)8131
施工企画課 052(953)8180
<http://www.cbr.mlit.go.jp/>

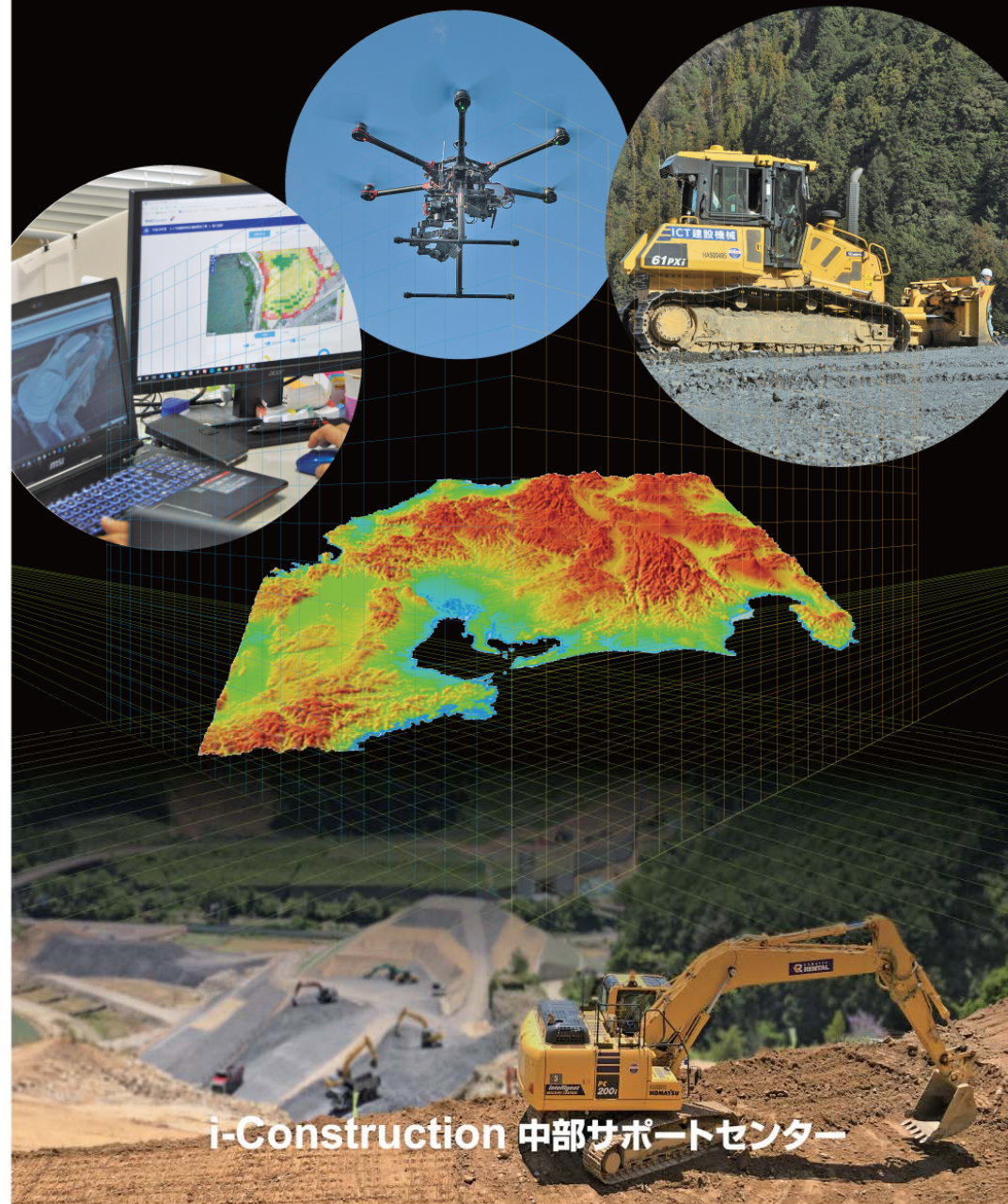
※ 詳しくはホームページをご覧ください。



i-Construction

国土交通省 中部地方整備局

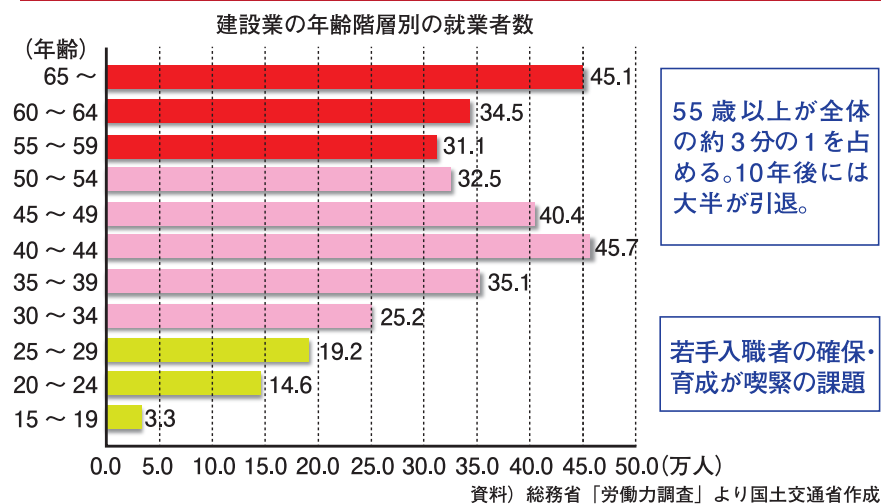
いまこそ建設現場の生産性向上を目指して



建設業の現状と課題

建設業は社会資本整備の担い手であると同時に、地域の安全・安心の確保を担う「地域の守り手」でもあります。ただ、その建設業も人口減少や高齢化の影響で、「担い手不足」の課題に直面しています。

建設業における高齢者の大量離職の見通し

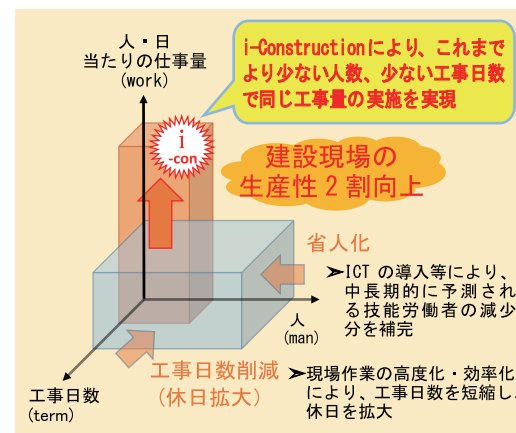


●賃金水準の向上や
休日拡大による働き方改革
●現場の生産性向上

こうした改革が
不可欠

i-Construction が目指すもの

調査・測量から設計、施工、検査、維持管理・更新までの全てで ICT(情報通信技術)等を活用する「i-Construction」を進め、建設現場の生産性を2025年度までに2割向上を目指しています。



新3Kへ！ 現場からの生産革命



i-Construction のトプランナー施策

ICTの全面的な活用 (ICT活用工事)

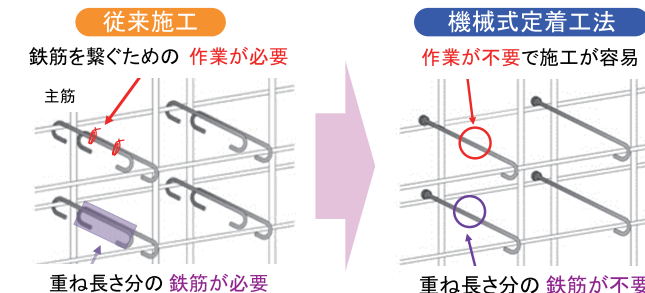
調査・測量、設計、施工、検査等のあらゆるプロセスにおいて ICT を全面的に活用します。

コンクリート工における生産性向上

現場打ち、プレキャストコンクリート(工場製品)それぞれの特性に応じ、施工の効率化を図る技術・工法を導入するなど、コンクリート工全体の生産性向上を図ります。

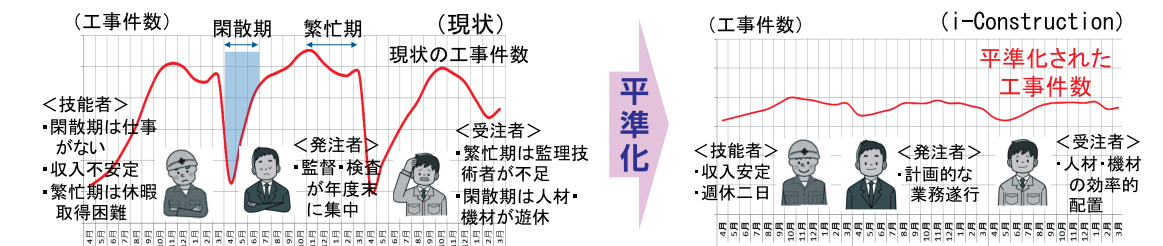
【ガイドライン整備中の技術】

技術・工法	策定期期
機械式鉄筋定着工法	H28 策定済
流動性を高めたコンクリート	
機械式鉄筋継手工法	

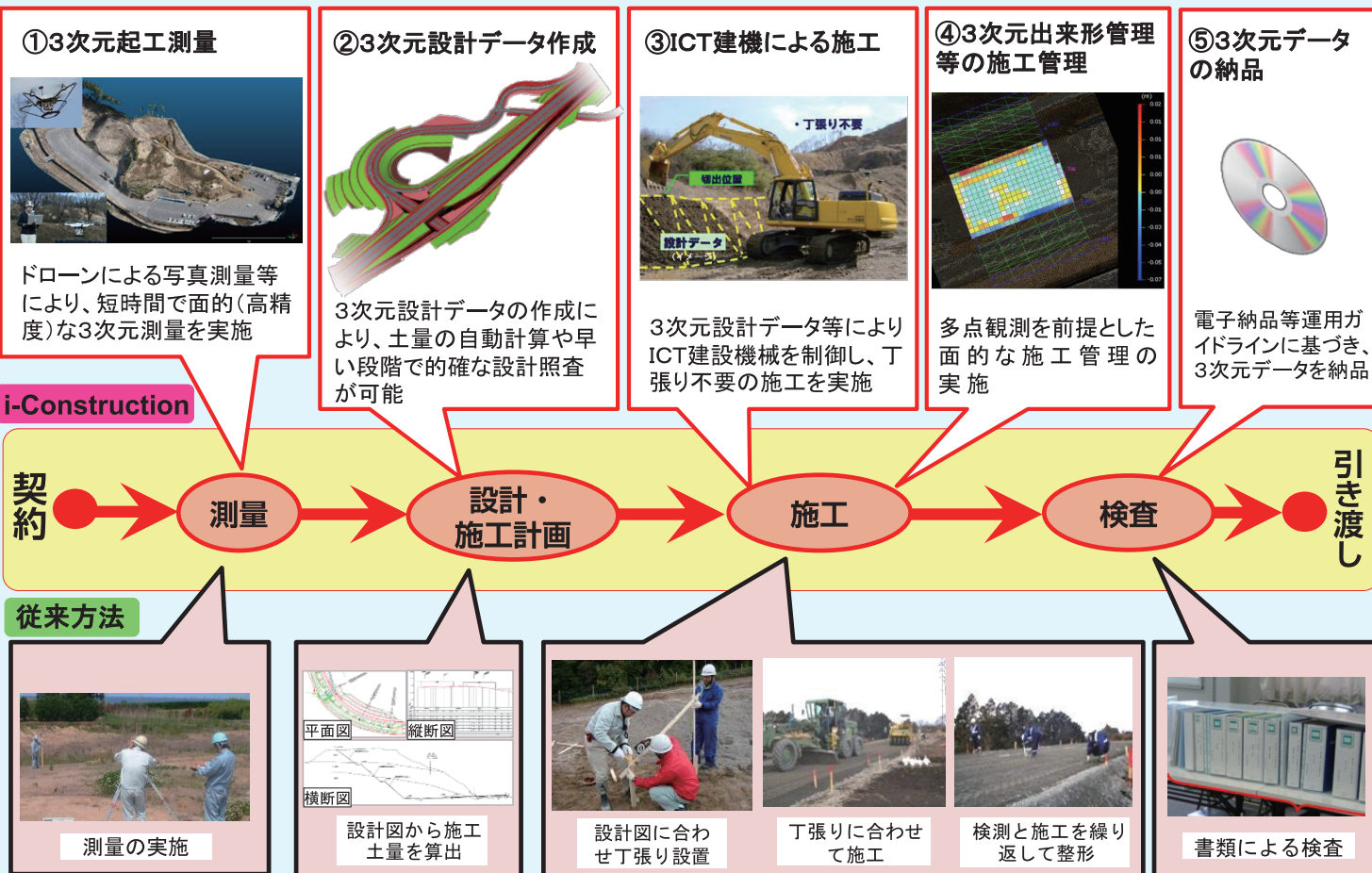


施工時期の平準化

年間を通して工事を平準化します。



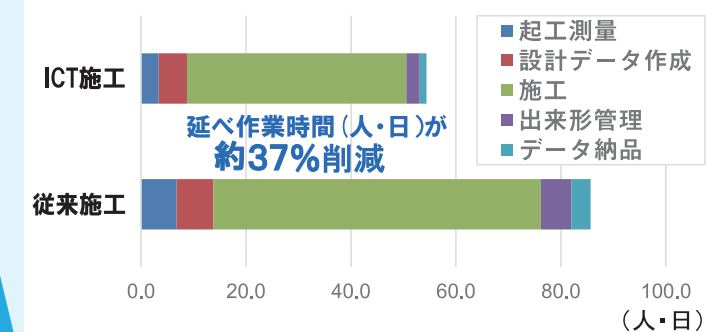
ICT 土工で建設現場の「生産性革命」



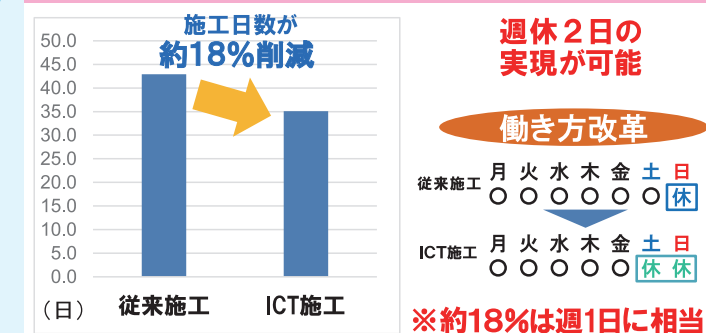
ICT 土工により現場はどう変わった？

中部地方整備局では2017年3月末までに約100件の工事でICT土工を実施。その結果、さまざまな活用効果が報告されています。

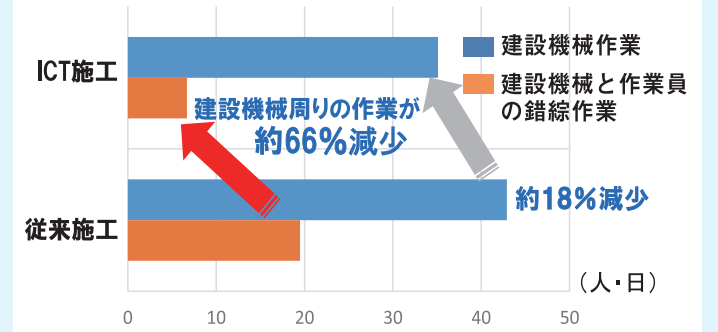
施工効率の大幅向上



作業日数削減により休日増加が可能



安全性の大幅向上



出来形・品質の向上



今後も i-Construction を普及促進していきます !!